

会員の広場

12月号の特集「情報処理機器における実装技術」について、次のようなご意見、ご感想をいただきました。

・最近のフリップチップやBGAなどのLSI実装技術をはじめとした実装技術全般について理解しやすい内容であった。LSI設計を本業とする自分にとっては少々物足りない感じはしたが、分野を異にする人に対する配慮と考えれば適当なレベルであったのではないかと思う。最近の情報機器は低電圧化が進む一方で、動作周波数の高速化による消費電力の増大で発生する熱の対策などには共感する点がある。
(磯野浩志)

・目的プログラムを小さくしてROMチップを減らして、製造原価を下げることを思い出しながら、読ませていただいた。ソフトウェアのダウンサイズ化はすでに過去のものとなってしまったが、これもハードウェアの高密度化/低コスト化に支えられていることを改めて痛感した。
(怡土好夫)

同特集の記事「モバイルコンピュータにおける実装技術」についても、次のようなご感想をいただきました。

・ノートPCを構成する各部分ごとにその特徴が整理されていて、大変分かりやすかったと思います。
(高田秀志)

・大変わかりやすく参考になった。
(匿名希望)

12月号のその他の記事に関して、次のようなご意見、ご感想をいただきました。

・「コンピュータ科学教育カリキュラムJ97」は、第一期生委員による案、ということで楽しみにしています。特に、情報系学科以外の学生向け情報リテラシ [Y] に期待している。
(岡田昌康)

・「RoboCup-97報告」について、「新しい手法」に期待し過ぎると思う。おそらく広い意味での「手法」だろうが、チェスや碁の場合は対局から離れて、ゲームのアルゴリズムを議論しあっていたように覚えている。ロボット・サッカーでは、ロボットの動作やシミュレーションが当学会の研究テーマとなる。
(怡土好夫)

その他に以下のご意見、ご要望が寄せられました。

・「素朴な疑問」のテーマは、学会誌の編集委員が選んでいと思いますが、読者からの質問にも答えて欲しい。
(匿名希望)

・インターネットを使用した場合の暗号化技術や電子マネーについて特集して欲しい。
(匿名希望)

・11月号の音声処理技術の特集について、2章以降は専門的な立場からのサーベイという立場で編集されたとのことですが、専門外の私には難しすぎる部分が多々あり、読むのに苦しみました。
(高田秀志)

(本欄担当 梅木秀雄/書評・ニュース分野)

編集室

大特集「数式処理」が組まれてから早11年近くが経過しました。この間計算機のさまざまな面での発達があったにも関わらず学会誌で数式処理技術の紹介を取り上げることが一度もありませんでした。今回の特集は、情報処理学会が技術の歴史的なウォッチャーとしての役割に関して問題提起し、企画してみた次第です。11年も経つと学会誌の読者層がかなり変化してしまったようで、前回のような広い意味での研究者相手の記述方針から180度近く転換した一般読者向けの記述にする必要がありました。そのため執筆者の面々に大変な苦勞をお掛けしてしまい、この場を借りてお礼を述べさせていただきます。

数式処理のみならず情報処理分野の基礎的技術の紹介は、数学もしくはある種の専門的知識を前提にせざるを得ないことが多いために一般読者には向かないという意見があります。また、基礎分野の研究者は産業分野つまり技術のユーザに対する説明(売り込みと言った方が正しい)に熱心でない風潮がある気もします。しかし、だからといって基礎技術の解説の場を削るのではなく、逆にやさしい

解説を増やし、皆が基礎技術のユーザに成りやすくする流れを盛り上げるこそが、この分野で産学共同研究などを今後盛り上げる意味でも重要であると考えます。

最後にお断りしておきます。本特集では個々の数式処理系に関する解説を取上げて加えませんでした。この11年で計算機の個人への普及が進んだと同時に数式処理系の普及もかなり進みました。大きな書店の洋書売場や専門書売場でも棚一段以上は数式処理系の使い方に関する本が並ぶ時代となっています。本特集では、こうした数式処理系を次世代へと発展させるための基礎技術を中心に取り上げた次第です。

(本特集担当 藤瀬哲朗/基礎・理論分野)

オリンピックの真っ直中、本誌も「長野オリンピックのネットワークと情報提供システム」を掲載いたしました。お忙しい中、著者の方、また担当編集委員の方には限られた時間の中で手を尽くしていただき感謝申し上げます。

(編集係)



(Vol.39 No.2)

(掲載順, 所属は現在のものを記載)

- 特集「マルチメディア分散・協調コンピューティング」の編集にあたって
柴田義孝 (東洋大), 滝沢 誠 (電機大)
岡田謙一 (慶大), 菅野政孝 (NTTデータ)
- Perceptual Retrieving Method for Distributed Design Image Database System
Manabu Fukuda (CSK Research Institute)
Kaoru Sugita, Yoshitaka Shibata (Toyo University)
- マルチエージェントによる多様な画像に対応した物体認識システムの一構成法
柳井啓司, 出口光一郎 (東大)
- やわらかいビデオ会議システムの協調プロトコルの拡張と評価
唐橋拓史, 勝倉 真, 菅沼拓夫 (東北大)
菅原研次 (千葉工大), 木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)
- エージェント指向分散処理システムADIPSのための組織構成エージェントの領域知識記述形式
藤田 茂, 原 英樹, 菅原研次 (千葉工大)
木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)
- マルチエージェント機能による遠隔協同授業支援
太細 孝, 小泉寿男 (三菱), 横地 清 (元東海大)
守屋誠司 (山形大), 白鳥則郎 (東北大)
- Design of a Distributed Hypermedia System Based on Hypermedia-on-Demand Architecture
Michiaki Katsumoto, Shun-ichi Iisaku
(Communications Research Laboratory)
- 遺伝的アルゴリズムによる負荷分散機構を有する適応型ルーティング
棟朝雅晴, 高井昌彰, 佐藤義治 (北大)
- 帯域見積りに基づく輻輳回避アルゴリズム
釘本健司, 天海良治 (日本電信電話)
- TCP短期デッドロック問題の解決
村山公保, 山口 英 (奈良先端大)
- ネットワーク協調型コンピューティングアーキテクチャ (NCCA)
山下博之, 村主俊彦, 木下真吾 (NTT)
- 大域計算アーキテクチャー広域環境での並行計算とマルチメディア処理の統合的実現
前川博俊, 齊藤隆之
千葉哲央 (デジタル・ビジョン・ラボラトリーズ)
- マルチスレッド化された目的コードを生成するLOTOSコンパイラの実現
安本慶一 (滋賀大), 安倍広多 (大阪市立大)
後藤和裕, 東野輝夫, 松浦敏雄, 谷口健一 (阪大)
- コマンド・レスポンス型タイムクリティカル通信プロトコルの提案と評価
矢部正行, 井手口哲夫, 永島規充
厚井裕司, 渡邊 晃 (三菱)
- データ通信とデータ格納のためのユニバーサルASN.1トランスレータ
小野智弘, 西山 智, 堀内浩規, 小花貞夫, 鈴木健二 (KDD)
- ワイヤレス通信環境における選択的マルチメディア通信方式の実装
太田 賢, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
- 遠隔技術相談システムに適した動的QoS制御
井口信和, 内尾文隆 (和歌山大)
- QOSの3階層指定とその翻訳を用いたセッションの単純化調停方式
西尾信彦 (慶大), 徳田英幸 (カーネギーメロン大)
- 圧縮ビデオデータ転送のためのパケットおよびフレームレート制御法
橋本浩二 (CSK), 知念 正 (日本ビクター)
佐藤 純, 柴田義孝 (東洋大)
- マルチメディアコンテンツ転送向け高性能TCP/IP通信ボードの構成と評価
長田孝彦, 東海林敏夫, 山下博之, 塩川鎮雄 (NTT)
- コンピュータネットワークにおける正しい構成発見のための情報認証方式
村山優子 (広島市立大)
- ネットワーク管理のための管理情報ベース (MIB) に対する柔軟なビュー提供方式
堀内浩規, 吉原貴仁, 杉山敬三, 小花貞夫, 鈴木健二 (KDD)
- Pseudo-active Replication in Heterogeneous Clusters
Kenji Shima, Hiroaki Higaki
Makoto Takizawa (Tokyo Denki University)
- タブルスペース通信の複製管理方法
川口 昇, 佐藤文明, 水野忠則 (静岡大)
- M-ary Consensus Protocol with Partially Ordered Domain
Iwao Shimojo, Takayuki Tachikawa
Makoto Takizawa (Tokyo Denki University)
- ネットワーク指向分散アプリケーション記述のための言語系DeLisの設計と実装
三石 大, 布川博士 (宮城大), 白鳥則郎 (東北大)
- 知識ベースシステムを用いた分散型メール配送システムMILD
上田宏高, 門林理恵子, 萩野浩明, 塚本昌彦, 西尾章治郎 (阪大)
- 発想支援グループウェアを用いた分散協調型KJ法における作業過程の時系列表示と実験結果の関係に関する一検討
由井蘭隆也 (鹿児島大), 宗森 純 (阪大), 長澤庸二 (鹿児島大)
- 分散協調型KJ法における直感的な分類作業に個人々の知識量が及ぼす影響の評価法IPL法の提案と適用
杉浦茂樹 (東北大), 宗森 純 (阪大)
木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)
- 遠隔ゼミナール支援システムのインターネットを介した適用と評価
宗森 純, 吉田 孝 (阪大)
由井蘭隆也 (鹿児島大), 前藤 勝 (阪大)
- カプセル化機構を用いた情報流通方式: FleaMarket
明石 修, 森保健治, 寺内 敦 (NTT)
- 統合パッケージを利用したシステム開発への遠隔JADの適用と検証
片岡信弘, 小泉寿男 (三菱)
高崎欣也 (スーパーコミュニケーションズシステム・インテグレーション本部), 白鳥則郎 (東北大)
- Shadow Codes for Representation of Binary Visual Patterns
Julio Tanomaru (The University of Tokushima)
Atsushi Inubushi (Fujitsu Limited)
Yoshizo Takahashi (The University of Tokushima)
- A Performance Debugging System Based on an Internal Model
Noritaka Osawa (the University of Electro-Communications)
Kei Hisano (Sony Corporation)
Toshitsugu Yuba (the University of Electro-Communications)
- Fast On-line String Searching
Zhibin Liu, Xiaoyong Du, Naohiro Ishii
(Nagoya Institute of Technology)

人材募集



●東京大学大型計算機センター

募集人員 助教授または講師 1名
研究分野 計算機ネットワークに関する研究開発
応募資格 平成10年4月1日現在で35歳未満であり博士の学位を取得している方。ただし可能なかぎり若い方が望ましい
着任時期 平成10年6月1日以降のなるべく早い時期
提出書類 履歴書、最終学歴の卒業証明書および学業成績証明書（ただし大学院修了の場合は出身大学学部の成績証明書も含めること）、研究歴、業績リスト（主要論文別刷添付）、推薦書（学部長、指導教官、研究室主任、本センター運営委員、連絡所責任者などによるもの）、本センターに応募する理由および抱負（1200字以内）
応募締切 平成10年3月2日（必着）
送付先 〒113-8658 東京都文京区弥生2-11-16 東京大学大型計算機センター センター長
「応募書類在中」と朱書き親展
照会先 本センター事務部庶務掛 E-mail:shomu@cc.u-tokyo.ac.jp Tel(03)3812-2111 (ext.2710)
その他 場合によっては面接することがあります。

●島根大学総合理工学部数理・情報システム学科

募集人員 教務職員 1名
所 属 応用情報学講座
専門分野 情報科学または情報工学
応募資格 (1) 大学院修士課程修了以上（見込みを含む）の方で、教育・研究に熱意のある方（将来博士の学位を取得し、助手への昇進をめざす方が望ましい）、(2) 計算機システムの管理ができる方
着任時期 平成10年4月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類 履歴書、業務経歴（研究業績を含む）、論文または報告書があればその別刷（コピー可）、今後の教育・研究に対する抱負、参考意見をいただける方の氏名と連絡先
応募締切 平成10年3月10日（必着）
送付先/照会先 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学総合理工学部数理・情報システム学科 岡本 覚
E-mail:okamoto@cis.shimane-u.ac.jp Tel(0852)32-6478 Fax(0852)32-6489
「応募書類在中」と朱書き書留

●筑波技術短期大学視覚部情報処理科

募集人員 教授または助教授 1名
専門分野 経営情報または情報システム
担当科目 OA概論、管理工学、電子商取引等、経営情報システムを中心とした教科
応募資格 博士号を有する方またはこれに準ずる業績を持つ方
着任時期 平成10年4月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成10年3月15日 ただし適任者が決まり次第応募を締め切ります
提出書類 履歴書（様式あり）、主要業績目録等（様式あり）、全業績リスト一覧、主要論文5編、推薦書1通または応募者について問合せのできる方2名の氏名と連絡先、希望するポスト（教授または助教授）を明記のこと
送付先/照会先 筑波技術短期大学視覚部情報処理科 高橋寛子
E-mail:takahasi@cs.k.tsukuba-tech.ac.jp Tel(0298)58-9573 Fax(0298)58-9579
その他 本学は3年制の国立短期大学で、学生は全員視覚障害者です。情報処理科には、「情報システム」と「経営情報」の2コースがあり、現在後者の充実強化を推進中です。視覚障害者の教育に意欲を持ち、経営情報コースの中核となる方の応募を期待します

●津山工業高等専門学校情報工学科

募集人員 教授または講師 1名
専門分野 情報工学およびその関連分野。ただし、総合情報センターの業務が分担可能なこと
応募資格 (1) 博士の学位を有する(見込みを含む)年齢45歳以下の方、(2) 高専の教育・学術研究に強い意欲があり、学生指導にも理解と熱意を持つ方
着任時期 平成10年10月1日(調整可)
提出書類 自筆履歴書、研究業績一覧表、主要論文別刷など(コピー可)、推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名
応募締切 平成10年5月29日(必着)
送付先 〒708-8509 岡山県津山市沼624-1 津山工業高等専門学校庶務課人事係 Tel(0868)24-8212 Fax(0868)24-8219
「情報工学科教官応募」と朱書き書留
照会先 情報工学科 教授 三木成彦 E-mail:miki@tsuyama-ct.ac.jp Tel(0868)24-8281 Fax(0868)24-8247
http://www.tsuyama-ct.ac.jp/

●NTTソフトウェア(株)

募集人員 システムエンジニア・技術営業160名(予定)
専門分野 情報・通信などの理工学分野
応募資格 平成11年3月に大学院(博士・修士)を修了見込みの方、または大学を卒業見込みの方
採用予定 平成11年4月1日
提出書類 履歴書など(下記照会先までお問い合わせください)
応募締切 定員になり次第
送付先/照会先 〒231 神奈川県横浜市中区山下町209 NTTソフトウェア(株)人材開発本部採用担当
E-mail:saiyo@hq.ntts.co.jp Tel(045)212-7611 http://www.ntts.co.jp/
その他 経験者募集も随時実施中です

IPSJカレンダー

| 行事名 | 会場名 | 開催日 | 参加締切 | 論文/応募締切 | 掲載頁 | 担当 |
|---|----------------|---------------------|----------|---------|---------------|----|
| 第24回音楽情報科学研究会 | NTT厚木研究センター | 2月19日(木) ～20日(金) | 当日のみ | | 39-1 会4p | 研 |
| 第77回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 | 北陸先端大 | 2月26日(木) ～27日(金) | 当日のみ | | 39-1 会5p | 研 |
| 第87回マルチメディア通信と分散処理研究会 | 北陸先端大 | 2月26日(木) ～27日(金) | 当日のみ | | 39-1 会5p | 研 |
| 第89回グラフィクスとCAD研究会 | 情報処理学会 | 2月27日(金) | 当日のみ | | 39-1 会6p | 研 |
| インタラクシオン'98 | 東大 | 3月3日(火) ～4日(水) | 2月20日(金) | | 39-2 会18p | 研 |
| 第2回ワールドワイドコンピューティング国際会議(WWCA'98) | 筑波第一ホテル | 3月4日(水) ～5日(木) | | | 39-2 本175p | 国 |
| 第27回グループウェア研究会 | 情報処理学会 | 3月5日(木) | 当日のみ | | 39-2 会11p | 研 |
| 第120回計算機アーキテクチャ研究会 | 札幌エレクトロニクスセンター | 3月5日(木) ～6日(金) | 当日のみ | | 39-2 会11p | 研 |
| 第70回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 | 札幌エレクトロニクスセンター | 3月5日(木) ～6日(金) | 当日のみ | | 39-2 会11p | 研 |
| 東海支部 講習会 | 名工大 | 3月6日(金) | | | 39-1 会14p | 海 |
| 第20回オーディオビジュアル複合情報処理研究会 | 同志社大 | 3月6日(金) | 当日のみ | | 39-2 会12p | 研 |
| 第118回ソフトウェア工学研究会 | 情報処理学会 | 3月10日(火) ～11日(水) | 当日のみ | | 39-2 会12p | 研 |
| 設計教育者のためのVHDL講習会 | 阪大 | 3月11日(水) ～13日(金) | 定員になり次第 | | 38-12 23p | 研 |
| 第124回自然言語処理研究会 | 阪大 | 3月12日(木) ～13日(金) | 当日のみ | | 39-2 会13p | 研 |
| 第77回ヒューマンインタフェース研究会 | ソニー | 3月13日(金) | 当日のみ | | 39-2 会13p | 研 |
| 第11回デジタル・ドキュメント研究会 | 情報処理学会 | 3月13日(金) | 当日のみ | | 39-2 会13p | 研 |
| 北陸支部 講演会 | 富山商船高専 | 3月14日(土) | | | 39-2 会22p | 陸 |
| 北陸支部 平成9年度北陸地区学生による研究発表会 | 富山商船高専 | 3月14日(土) | | | 38-12 28p | 陸 |
| 第111回知能と複雑系研究会 | 情報処理学会 | 3月16日(月) | 当日のみ | | 39-2 会14p | 研 |
| 設計教育者のためのVHDL講習会 | 東大 | 3月16日(月) ～18日(水) | 定員になり次第 | | 38-12 23p | 研 |
| 第67回情報システム研究会 | 東京工科大 | 3月17日(火) | 当日のみ | | 39-2 会14p | 研 |
| 情報処理学会第56回全国大会 | 中大理工学部 | 3月17日(火) ～19日(木) | | | 39-2 全大 | 事 |
| 第110回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 | 川崎市産業振興会館 | 3月19日(木) | 当日のみ | | 39-2 会14p | 研 |
| 第18回数理モデル化と問題解決研究会 | 電通大 | 3月20日(金) | 当日のみ | | 39-2 会14p | 研 |
| 第61回アルゴリズム研究会 | 東芝 | 3月20日(金) | 当日のみ | | 39-2 会15p | 研 |
| 第47回コンピュータと教育研究会 | 情報処理学会 | 3月20日(金) | 当日のみ | | 39-2 会15p | 研 |
| 第18回プログラミング研究会 | 電通大 | 3月23日(月) ～24日(火) | 当日のみ | | 39-2 会15p | 研 |
| 連続セミナー97 データウェアハウス | 工学院大 | 3月24日(火) | 定員になり次第 | | 38-11 15p | 事 |
| アルゴリズム特許の現状と問題点シンポジウム | 東京農工大 | 3月24日(火) | | | 38-10 24p | 研 |
| The IEEE Third International Conference on Automatic Face and Gesture Recognition (FG'98) | Big Roof (奈良) | 4月14日(火) ～16日(木) | | | 38-8 21p | 研 |
| 9th Int'l Workshop on Software Specification and Design (IWSSD-9) | 伊勢志摩ロイヤルホテル | 4月16日(木) ～18日(土) | | | 38-10 25p | 研 |
| 第20回ソフトウェア工学国際会議(ICSE'98) | 京都国際会館 | 4月19日(日) ～25日(土) | | | 39-2 本176p | 国 |
| Int'l Workshop on Aspect-Oriented Programming | | 4月20日(月) | | | 38-10 25p | 研 |
| Software Engineering on Parallel and Distributed Systems (PDSE'98) | | 4月20日(月) ～21日(火) | | | 38-10 25p | 研 |

| 行事名 | 会場名 | 開催日 | 参加締切 | 論文/応募締切 | 掲載頁 | 担当 |
|--|-----------------------|-----------------------|------|-----------|--------------|----|
| Int'l Symposium on Object-oriented Real-time Distributed Computing (ISORC '98) | | 4月20日 (月) ~22日 (水) | | | 38-10 25p | 研 |
| 第40回通常総会 | | 5月20日 (水) | | | | 総 |
| 1998年並列処理シンポジウムJSPP '98 | 名古屋国際会議場 | 6月 3日 (水) ~5日 (金) | | | 38-10 26p | 研 |
| グラフィクスとCADシンポジウム | 早大 | 6月12日 (金) ~13日 (土) | | 3月 6日 (金) | 39-2 会19p | 研 |
| マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO '98) シンポジウム | 指宿岩崎ホテル | 7月 8日 (水) ~10日 (金) | | 3月13日 (金) | 39-1 会9p | 研 |
| Asia Pacific Computer Human Interaction 1998 (APCHI '98) | Shonan Village Center | 7月15日 (水) ~17日 (金) | | 1月31日 (土) | 38-9 29p | 国 |
| DAシンポジウム '98 | 遠鉄エンパイアホテル | 7月16日 (木) ~18日 (土) | | 3月11日 (水) | 39-1 会10p | 研 |
| 画像の認識・理解シンポジウム (MIRU '98) | 岐阜市未来会館 | 7月29日 (水) ~31日 (金) | | 1月17日 (土) | 38-11 27p | 研 |
| オブジェクト指向 '98シンポジウム | 東京都内 | 9月16日 (水) ~18日 (金) | | 4月10日 (金) | 39-1 会10p | 研 |
| 論文誌特集号 「分散協調支援とその応用」 | | | | 2月28日 (土) | 38-10 27p | 編 |
| 平成10年度役員選挙投票 | | | | 3月 2日 (月) | 39-2 会2p | 総 |
| 論文誌特集号 「マルチメディア通信と分散処理」 | | | | 5月 1日 (金) | 38-11 28p | 編 |
| 論文誌特集号 「ヒューマンインタフェースとインタラクション」 | | | | 5月29日 (金) | 38-12 24p | 編 |
| 論文誌特集号 「人文科学とコンピュータ」 | | | | 8月31日 (月) | 39-1 会11p | 編 |

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号付録(会告)に掲載されています。

注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 研究会係, 事: 事業係, 国: 国際係, 編: 編集係, 総: 総務係, 経: 経理係, 会: 会員係,
規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

注4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。本: 本誌, 会: 会告(付録), 全大: 全国大会プログラム(付録)

第2回 HORB シンポジウム 発表者・参加者募集

Javaのプログラムをほとんどそのまま分散実行することができる分散オブジェクト技術HORBのシンポジウムを開催します。HORBの適用事例や開発研究に関する発表を募集します。既発表のものでも結構です。奮ってご応募ください。

日程：1998年5月19日（火）
会場：通産省工業技術院共用講堂（茨城県つくば市）
主催：電子総合技術研究所(ETL)およびHORB Open事務局
協賛：(社)情報処理学会 (IPSJ)
プログラム概要：基調講演・テクニカル・適用事例他
General Chair：大蒔和仁 (ETL)
Program Co-chair:平野 聡 (ETL)
詳細は <http://www.horb.org/>に随時掲載します。
参加費：無料
照会先：HORB Open 事務局
〒247-0065 神奈川県鎌倉市上町屋792
三菱スペースソフトウェア(株) 気付
古瀬慶博 (furuse@ring.etl.go.jp)
電話 0467-47-6703 Fax 0467-43-1609

新しい論文誌（研究会論文誌）の発行について

会長 戸田 巖

社会の情報化が急速に進展するなか、本学会は情報処理の学術、技術に関わる専門分野から学際分野までの研究・開発・調査を支援する重要な役割を担っています。今日の情報学術、技術の急速な進歩や分野の拡大に対処するため、迅速に新しい分野をカバーする研究会や研究グループ活動の強化、新しい多様な価値観の導入など、本学会に対する期待も急速に変化・拡大しており、速やかな対応が求められています。

このような状況に対処するため、本学会では、新しい論文採録規定の創成に向けてまず論文誌に次のような改革を行ってきました。

- (1) メタレビューア制度（学会誌Vol.38, No.5, No.6参照）
- (2) ゲストエディタ制度（学会誌Vol.38, No.8参照）
- (3) 研究会推薦論文制度（学会誌Vol.38, No.8参照）

さらに、急速に拡大、多様化する各種研究分野での価値ある研究をタイムリーに公表するため、従来の論文誌に加えて、研究・開発・調査の最前線において活動を展開している研究会、研究グループを主体とする複数の新たな論文誌（研究会論文誌）を発行することにいたしました。

会員の皆様には各論文誌に明記されている研究分野、査読方針等をご参照のうえ適切な論文誌にご投稿いただくこととなります。

発行の概要は次のとおりです。会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、投稿要領は個々の研究会からのご案内が順次、学会誌会告欄に掲載されます。

【研究会論文誌の発行概要】

1. 名称・刊行形態

- (1) 和名は「情報処理学会論文誌：サブタイトル」とします。英名は「Information Processing Society of Japan (略称：IPSJ) Transactions on サブタイトル」とします。
- (2) 平成10年度5月目途で、体制の整った研究会から順次、発行予定です。

2. 編集方針と責任母体

- (1) 研究会ごとに編集方針（研究分野、論文の形式、査読基準、査読方法、投稿方法等）、および責任母体（編集委員）を研究会の責任において決定し、これを公表します。
- (2) 複数の研究会が合同で編集する場合があります。
- (3) 非会員の投稿も認めます。

3. 研究会論文誌の購読方法

- (1) 研究会論文誌の購読を希望する場合には、研究会登録申込書（本号会告欄）により、論文誌を編集する当該研究会にご登録ください。
- (2) 当該研究会登録者以外の研究会論文誌の購読希望については、詳細が確定次第、学会誌上にてご案内いたします。

4. 従来の論文誌との関係

研究会論文誌は従来の論文誌がカバーしきれない研究分野を扱うこととなります。

また、従来の論文誌の和名、英名、投稿要領等に変更はありません。

以上

「情報検索システム評価用テストコレクションBMIR-J2」公開のお知らせ

データベースシステム研究会 第3分科会 (情報検索とハイパーテキスト)
情報検索システム評価用ベンチマークデータベース構築ワーキンググループ

欧米では、情報検索システムの客観的評価に役立つ様々なテストコレクションが公開され利用されています。

我々は、日本語を対象とした情報検索システムの研究開発の発展には日本語テストコレクションの構築が必要不可欠であることを痛感し、これを実現するためのワーキンググループを1993年4月にデータベースシステム (DBS) 研究会のもとに発足させました (現在はDBS研究会第3分科会 (情報検索とハイパーテキスト) に所属)。そして1996年3月には、日本経済新聞社のご理解のもとに日本初のテストコレクションBMIR-J1を公開しました (現在、頒布終了)。

以来、利用者の方々からいただいたご意見のもとに検索要求の見直しを行い、毎日新聞社のご理解のもとに、新情報処理開発機構 (RWCP) との共同作業により検索対象の規模を大幅に拡大したテストコレクションBMIR-J2をこのたび公開するに至りましたのでお知らせします。

内 容 検索対象となる新聞記事IDリスト
検索要求とそれに対する正解記事IDリスト
利用誓約書、利用説明書
*詳細は以下のURLをご参照ください

URL - <http://www.rwcp.or.jp/wswg/rwcd/text/>

費 用 実費で2,000円程度

配布開始予定 1998年3月

申込方法 利用ご希望の方は、氏名・所属・連絡先を明記し、メディアドライブ (株) (配布委託先) の下記アドレスまでご連絡ください。

E-mail: txrwcd@mediadrive.co.jp

問合せ先 E-mail: txrwcd@mediadrive.co.jp

参考文献 一木谷ほか: 日本語情報検索システム評価用テストコレクションBMIR-J2, 情処研究報告98-DBS-114-3 (1998)

*なお、BMIR-J2の利用には毎日新聞CD-ROM '94データ集をお持ちであることが前提となります。毎日新聞CD-ROMの入手方法については以下のURLをご参照ください。

URL - <http://cactus.aist-nara.ac.jp/lab/resource/cdrom/Mainichi/MS.html>

The 2nd International Conference on

Worldwide Computing and Its Applications '98 (WWCA'98)

第2回ワールドワイドコンピューティング国際会議 参加者募集

筑波第一ホテル

1998年3月4日(水)、5(木)

◆ネットワークを活用するワールドワイドなソフトウェア開発と利用および関連技術に関する国際会議 WWCA を昨年につづいてつくばで開催します。会議では、分散アプリケーション、分散プラットフォーム、分散開発環境、協調メディア、インターネット技術などに関して内外の著名な研究者と技術者による招待発表および一般公募による研究発表が行われます。これらの分野の研究者および関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

◆基調講演には、所真理雄 (ソニー CSL)、Guy Steele (Sun Microsystems Laboratories)、Kilnam Chon (KAIST) の3氏を予定しています。

◆本会議と併設して3月3日、4日にインターネットワークショップ '98 (IWS '98) が開催されますので、併せてご参加をお待ちしております。

◆参加登録、プログラムなどについては、下記ホームページをご覧ください。参加希望者はホームページより参加申込書をダウンロードし、FAXにてWWCA98事務局(0298-55-5907)にお送りください。

◆ <http://ci.etl.go.jp/wwca98/>

主催

情報処理学会 (IPSJ)

電子技術総合研究所 (ETL)

協賛

Association for Computing

Machinery (ACM)

電子情報通信学会 (IEICE)

情報処理振興事業協会 (IPA)

General Chair

相磯秀夫 (慶応義塾大学)

Program Co-Chairs

増永良文 (図書館情報大学)

片山卓也 (北陸先端科学技術大学院大学)

WWCA98 事務局

(株) カルティオ

〒305-0821 つくば市春日 4-1-2

電話/FAX: 0298-55-5907

E-mail: wwca98-sec@etl.go.jp

第 20 回ソフトウェア工学国際会議(ICSE98)参加者募集

第 6 回の東京大会以来、久しぶりに日本で開催されるソフトウェア工学国際会議です。ソフトウェア工学の最前線の研究発表の他、種々の著名な研究者、実務家によるチュートリアル、招待講演、ワークショップなどが予定されております。また、各社の最新の製品や研究成果を展示するICSE98 EXPOも併設いたします。皆様の御参加をお待ちしています。

日程 平成 10 年 4 月 19 日(日)～ 25 日(土)

会場 国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

主催 日本学術会議 (社)情報処理学会 日本ソフトウェア科学会

IEEE Computer Society, Technical Committee on Software Engineering ACM Special Interest Group on Software Engineering

後援 文部省 郵政省 京都市 National Institute of Standards and Technology

招待講演

James Gosling (Sun Microsystems) : オブジェクト指向プログラム言語 Java の開発における中心人物の一人。
熊谷信昭(元大阪大学総長) : 日本における通信工学分野の第一人者。科学技術会議議員, 大阪大学名誉教授。

チュートリアル

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア・パターン Ralph Johnson (University of Illinois) ・フレームワークを作るためのデザインパターン Ralph Johnson (University of Illinois) ・オブジェクト指向分析・設計法Objectory Phillipe Kruchten (Rational Software Corporation) ・ソフトウェア工学者のためのC++ Mehdi Jazayeri and Georg Trausmuth (Technical University of Vienna) ・オブジェクト指向分析・設計法UML入門 Stephen Morris (The City University, London) ・OMG/CORBA入門 Wolfgang Emmerich (University College London) ・Javaの最新動向(仮) James Gosling (Sun Microsystems) ・ソフトウェアコンポーネントCOTS(Commercial-off-the-Shelf) Kurt Wallnau and David Carney (Software Engineering Institute) ・分散ソフトウェアアーキテクチャ Jeff Kramer and Jeff Magee (Imperial College) | <ul style="list-style-type: none"> ・WWWアプリケーションを開発するには? Michael Bieber (New Jersey Institute of Technology) ・クリーンルームの活用 Chales Engle and Dave Fuhrer (Q-labs) ・実用的なソフトのテストと解析 Mauro Pezze' (Politecnico di Milano) and Michal Young (University of Oregon) ・Software Surgery : ソフトウェアを進化させる技術 Keith Gallagher (Loyola College) ・発展するシステムのための要求解析 Colin Potts (Georgia Institute of Technology) ・経験工場Experience Factoryの作り方と運用 Victor Basili and Frank McGarry (University of Maryland) ・コントラクト(Contract)を用いた設計 Bertrand Meyer (Interactive Software Engineering Inc.) ・ソフトウェア計測学:あなたのプロジェクトをどう計る? Shari Lawrence Pfleeger (Systems/Software, Inc.) |
|---|--|

技術論文、パネルセッション他

- | | | |
|--|--|------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアプロセス改善経験 ・プロジェクトの見積りとシミュレーション ・ソフトウェア発展 ・21世紀の形式的手法 ・オブジェクト指向技術 他多数 | <ul style="list-style-type: none"> ・リバース技術 ・移動コード技術 ・コンポーネントベースソフトウェア工学 ・アーキテクチャ記述言語 | |
| 経験・現状報告セッション | ポスター、デモセッション | ドクターシンポジウム |

併設イベント

アジア太平洋フォーラム

ワークショップ

Symposium on Object-Oriented Realtime Distributed Computing
Workshop on Principle of Software Evolution
Software Engineering over the Internet
Workshop on Software Engineering Education
Workshop on Aspect-Oriented Programming
Workshop on Human Dimensions in Successful Software Development
Workshop on Computing and Communication in the Presence of Mobility

Symposium on Software Engineering for Parallel and Distributed Systems
Workshop on Component-Based Software Engineering
Engineering Hypertext for Future Information Systems
Workshop on Software Specification and Design
Workshop on Precise Semantics for Software Modeling Techniques
Workshop on Multimedia Software Engineering

ICSE98 EXPO

アンリツ SRA NEC NTTデータ NTTソフト オージス総研 オムロン 構造計画研究所 CSK シャープ 住友電気
セキテクノトロン 東芝 日本DEC 日本HP 日本IBM 日本SGIクレイ 日立 PFU 富士ゼロックス 理経 他

Corporate Sponsors NTT 日本経済新聞

お問い合わせ先

〒630-0101 奈良県生駒市高山町8916-5 奈良先端大 情報科学研究科 鳥居研究室内 ICSE98事務局
TEL : 0743(72)5314 FAX : 0743(72)5319 E-mail : icse98-info@itc.aist-nara.ac.jp
http://icse98.aist-nara.ac.jp/

書評・ニュース募集のお知らせ

情報処理学会学会誌編集委員会では、学会誌「情報処理」に掲載する書評、およびニュースを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
 - a) 書評—過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) ニュース—情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
2. 応募資格 原則として本学会員に限ります。
3. 応募の手続き 原稿は、本会所定の原稿用紙か、ワープロ等を用いる場合はA4判の用紙に24字×47行の字詰めで書いて、応募先あてにお送りください（電子メールの場合も同じ字詰め）。
 - 1) 表題—書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
ニュースは、見出しを書く。書評、ニュースの別を左肩に書く。
 - 2) 評者名・所属・評者連絡先（住所、Tel、E-mail等）の記載を忘れずに。
 - 3) 本文—書評は1900字前後で、ニュースは1000字前後で書く。
 - 4) （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。
 - 5) 筆者の自己紹介、氏名、会員の種別、経歴などを書く。（投稿時に顔写真は不要）詳しくは「情報処理学会機関誌原稿執筆案内」（1997年1月号掲載）を参照してください。
4. 原稿の取扱い 投稿された原稿は学会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。
5. 照会・応募先 原稿用紙の購入先、原稿の送付先、および照会先は次のとおりです。

(社) 情報処理学会 学会誌編集係 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

ご意見をお寄せください!

【アンケートを編集委員会の活動に反映していきたいと考えています。できるだけ月末までにお出しください。】

*1月号でアンケート用紙がもれておりましたので、本紙をご利用ください。

1. あなたはモニターですか?
 a. はい b. いいえ(eコード 1-)
2. 今月号(1998年1月号)の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
 あなたの評価は年度のBest Author賞選定の際の資料となります。評価は以下の5段階評価をお願いします。
 a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない
 d...悪い e...読んでいない (eの場合, 簡単な理由をお書きください.)

記事

【情報処理最前線】

| | 評価 | 理由 |
|--|----|----|
| 特 集: 並行処理におけるプログラム試験 マイクロペイメントーデジタルコンテンツ流通のキーを握る決済手段ー (eコード 2-1-) | . |) |
| 1. 並行処理プログラムの試験(eコード 2-2-) | . |) |
| 2. 通信プログラムの試験(eコード 2-3-) | . |) |
| 3. 制御用プログラムの試験(eコード 2-4-) | . |) |
| 4. クライアント・サーバプログラムの試験(eコード 2-5-) | . |) |
| 解 説: 進化論的計算手法の最近の研究動向(eコード 2-6-) | . |) |
| 解 説: 自己組織化と外部知性との結合 ー架空のコンピュータHALの生誕によせてー(eコード 2-7-) | . |) |
| 解 説: ベスト・プラクティスの思想と実践(eコード 2-8-) | . |) |
| 解 説: PCサーバ・クラスターアベイラビリティ (可用性) 向上をねらってー(eコード 2-9-) | . |) |
| 解 説: 「化学」を指向するチョムスキー言語学 1. 自然科学としての文法理論の目的と背景, 工学にとっての意義(eコード 2-10-) | . |) |
| 事 例: 旅行業におけるインタラクティブEDI利用の実証実験(eコード 2-11-) | . |) |
| 道しるべ: ペトリネットは便利な道具(eコード 2-12-) | . |) |

3. とくに興味をもってお読みになった記事・著者への質問・今後読んでみたい企画などをお書きください。
 (eコード 3)
 [意見/質問/要望/その他] (○で囲む).

4. あなたのご意見は本誌本会記事「会員の広場」に掲載される場合があります。その場合,
 a. 実名可 (氏名のみ掲載) b. 匿名希望(eコード 4-)
5. (a) ご氏名 (eコード 5-1)
 (b) ご所属 (eコード 5-2) Tel. () -

ご意見をお寄せください!

【アンケートを編集委員会の活動に反映していきたいと考えています。できるだけ月末までにお出しください。】

1. あなたはモニターですか?
 a. はい b. いいえ(eコード 1-)
2. 今月号(1998年2月号)の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
 あなたの評価は年度のBest Author賞選定の際の資料となります。評価は以下の5段階評価をお願いします。
 a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない
 d...悪い e...読んでいない (eの場合, 簡単な理由をお書きください。)

記事

【情報処理最前線】

| | 評価 | 理由 |
|---|----|----|
| ビジネスオブジェクトとその実現のための基盤技術(eコード 2-1- | . |) |
| 長野オリンピックのネットワークと情報提供システム(eコード 2-2- | . |) |
| 特集: 数式処理の最近の研究動向 | | |
| 1. 数式処理の過去・現在・将来—数学界に黒船がやってきた—(eコード 2-3- | . |) |
| 2. 方程式を解く(eコード 2-4- | . |) |
| 3. 数式処理と数値計算—いかに結合させるか?(eコード 2-5- | . |) |
| 4. 不安定なアルゴリズムを安定化する(eコード 2-6- | . |) |
| 5. 数式処理と並列処理(eコード 2-7- | . |) |
| 6. 数式処理の教育への応用(eコード 2-8- | . |) |
| 解説: IUE (画像理解用標準ソフトウェア) と Calibrated Image Database の現状(eコード 2-9- | . |) |
| 解説: 生体の視覚に学ぶコンピュータビジョン(eコード 2-10- | . |) |
| 解説: 「[化学]を指向するチョムスキー言語学」 | | |
| 2. 普遍文法を具体化してきた主要なアイデア達(eコード 2-11- | . |) |
| 解説: 「例からの学習技術の応用に向けて」 | | |
| 1. 基本技術とその応用上の課題(eコード 2-12- | . |) |
| 事例: 3階層C/Sシステムで構築したPerfecTV!顧客管理システム (SMS)(eコード 2-13- | . |) |
| 道しるべ: モバイルコンピューティング研究のすすめ—「いつでもどこでも コンピューティング」の繰り広げる未来にむけて—(eコード 2-14- | . |) |
| 委員会から: 第56回全国大会の企画紹介(eコード 2-15- | . |) |

3. とくに興味をもってお読みになった記事・著者への質問・今後読んでみたい企画などをお書きください。
 (eコード 3)
 [意見/質問/要望/その他] (○で囲む)。

4. あなたのご意見は本誌本会記事「会員の広場」に掲載される場合があります。その場合,
 a. 実名可 (氏名のみ掲載) b. 匿名希望(eコード 4-)
5. (a) ご氏名 (eコード 5-1)
 (b) ご所属 (eコード 5-2) Tel. () -

39巻2号掲載広告目次<五十音順>

| | | | |
|----------------------|-------|---------------|------|
| イムカ | 前付9下 | ソフト・リサーチ・センター | 前付6下 |
| オーム社 | 前付3 | 東芝 | 表2対向 |
| 近代科学社 | 前付6上 | 日本マンパワー | 前付8上 |
| サイエンス社 | 目次前 | 日本理学書総目録刊行会 | 前付7下 |
| 産業基盤ソフトウェア・フォーラム事務局 | 前付9上 | 培風館 | 前付5 |
| 昭晃堂 | 前付最終上 | 日立製作所中央研究所 | 前付2 |
| 情報処理相互運用技術協会 (INTAP) | 表3 | 富士通 | 前付4 |
| ソフトウェア生産技術研究所 | 表4 | 森北出版 | 前付7上 |
| | | 山本秀策特許事務所 | 前付8下 |

◆広告料金表

| 掲載場所 | 色 | スペース | 料金 (円) |
|--------------------------|---|------|---------|
| 表紙2 | 4 | 1 | 330,000 |
| 表紙3 | 4 | 1 | 275,000 |
| 表紙4 | 4 | 1 | 385,000 |
| 表2対向 | 4 | 1 | 300,000 |
| 前付 | 4 | 1 | 275,000 |
| 前付 | 2 | 1 | 165,000 |
| 前付 | 1 | 1 | 135,000 |
| 前付 | 1 | 1/2 | 80,000 |
| 前付最終 | 1 | 1 | 148,000 |
| 目次前 | 1 | 1 | 148,000 |
| 差込み (A判70.5kg未満) | | 1丁 | 275,000 |
| 差込み (A判70.5kg~86.5kg) | | 1丁 | 350,000 |

◆体裁

| | |
|------|---------|
| 判型 | A4判 |
| 発行部数 | 35,000部 |
| 発行日 | 毎月15日 |
| 印刷方法 | オフセット |

◆広告原稿

| | |
|-------|----------------------|
| 申込締切日 | 前月10日 |
| 原稿締切日 | 前月20日 |
| 原稿寸法 | 1P 天地260mm×左右180mm |
| | 1/2P 天地125mm×左右180mm |
| 原稿形態 | ポジフィルム |

*上記料金には、消費税は含まれておりません。断切広告は上記料金の10%増です。

*広告は、コート氏を使用して印刷いたします。

*表紙4のサイズは、天地260mm×左右180mmです。

◆広告申込先/カタログ・資料請求先

(社) 情報処理学会 学会誌編集係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

| 「情報処理」カタログ・資料請求用紙 | | Vol. | No. |
|--|----------------------------|-------|-------|
| 掲載広告のカタログ・資料をご希望の方はこの用紙をFAXするか、またはE-mailでご請求ください。 | | | |
| 広告頁 | 会社名 | 製品名 | 希望項目 |
| a-1 : | b-1 : | c-1 : | d-1 : |
| a-2 : | b-2 : | c-2 : | d-2 : |
| a-3 : | b-3 : | c-3 : | d-3 : |
| a-4 : | b-4 : | c-4 : | d-4 : |
| 読者希望項目 | 1. カタログ 2. 価格表 3. 説明 4. 購入 | | |
| 勤務先/学校名 部課/学科 | e : | | |
| 所在地 | f : | | |
| ご芳名 | g : | 年齢h : | 電話i : |
| あなたの勤務先に該当するものに○印を | | | |
| j : <業種>1.コンピュータ製造業 2.電気通信関係製造業 3.通信関係製造業 4.ソフトウェア業 5.官公庁 6.学校 7.その他 | | | |
| k : <職種>1.研究・開発 2.SE・プログラマ 3.製造・生産 4.企画・調査 5.営業販売 6.総務・経理 7.会社役員 8.その他 | | | |